

2. LCC(格安航空会社)利用者実態調査 調査票

格安航空会社(LCC)就航による 沖縄旅行未経験者市場開拓可能性調査	日時	/	:
	担当		No

沖縄県のアンケートにご協力ください

このたびは沖縄県にお越しいただきありがとうございます。

沖縄県では、よりよい観光地づくりの資料として活用するため、アンケート調査を実施しています。お疲れのところ大変恐れ入りますが、是非ご協力ください。ご回答いただいた結果は、すべて統計的に処理をいたしますので、ご迷惑をおかけすることは一切ございません。どうぞよろしく願いたします。

沖縄県 文化観光スポーツ部 観光政策課

■本アンケート調査は、以下の会社に委託して実施しております■
株式会社リクルート沖縄じゃらん/株式会社アール・ピー・アイ/株式会社インタープラン沖縄

あなたご自身についておうかがいします（それぞれ1つに○）

問1 年齢	1. 20歳未満	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60歳以上
問2 性別	1. 男性	2. 女性	問3 居住地	()都道府県 ()市区町村		
問4 職業	1. 会社員	2. 公務員・団体職員	3. 自営業	4. 自由業		
	5. 派遣・契約社員	6. アルバイト・パート	7. 学生	8. 専業主婦(主夫)		
	9. 無職	10. その他()				

今回の沖縄旅行についてお伺いします

問5 沖縄県へはどのくらいの頻度で旅行していますか（1つに○）

1. 今回が初めて	2. 2～3ヵ月に1回以上	3. 半年に1回程度	4. 1年に1回程度
5. 2～3年に1回程度	6. 4～5年に1回程度	7. 10年に1回以下	

問6 どなたと一緒にいらっしゃいましたか（1つに○）
※いちばん下のお子さまの年齢でお答え下さい

1. 1人で	2. 夫婦で	3. 恋人と
4. 子供連れ家族で(小学生以下)	5. 子供連れ家族で(中学生以上)	
6. 三世大家族で(子供が小学生以下)	7. 三世大家族で(子供が中学生以上)	
8. 親戚も含めた家族で	9. その他家族で	
10. 友人・知人と	11. 仕事仲間と	
12. 地域の団体・趣味のサークル	13. その他()	

問7 【問6で4～13の方】
あなたを含め、何人でいらっしゃいましたか（数字を記入）

①大人	()人
②子供	()人

問8 沖縄県内に何日滞在しましたか（数字を記入）

()泊 ()日

問9 今回の旅行で利用した沖縄県外の空港および航空会社はどちらですか（空港名と航空会社名を記入）

①往路：()空港 → 那覇空港	航空会社：()
②復路：那覇空港 → ()空港	航空会社：()

問10 今回の旅行の行き先に沖縄県を選んだ理由は何ですか（あてはまるものすべてに○）

1. 特定の観光地・観光スポットに魅力を感じたから
2. 文化・歴史に魅力を感じたから
3. 沖縄ならではの食、特産品に魅力を感じたから
4. 良い宿・ホテルがあったから
5. 気候が良さそうだから
6. 海外と比べて安全だと思ったから
7. 特定のイベントやアクティビティ(体験・活動)に興味があったから
8. テレビや雑誌などで話題になっていたから
9. 格安航空会社(LCC)を利用して通常より安く行けるから
10. クチコミなどで評判が良かったから
11. LCCによって交通の便が良くなり、行きやすくなったから
12. 沖縄へのLCC就航が話題になっていたから
13. 家族や友人・知人に誘われたから
14. 家族や友人・知人にすすめられたから
15. 家族や親族、知人がいたから
16. まだ行ったことがなかったから
17. なじみがあったから(これまでに何度も行っていて安心できる)
18. 仕事の都合で
19. その他()

問11 今回の沖縄旅行では、①以下のような体験をしましたか（ア～タのあてはまるものすべてに○）
また、①で回答した体験それぞれについて、②どの程度期待し、③どの程度満足しましたか
（②、③ともに、①で回答した体験それぞれ1つに○）

①体験の有無	②期待度					③満足度			
	1 非常に 期待し ていた	2 まあ 期待し ていた	3 あまり 期待し ていな かった	4 まったく 期待し ていな かった		1 非常に 満足	2 まあ 満足	3 やや 不満	4 非常に 不満
↓ 今回の沖縄旅行で 体験したものに○									
ア 観光地めぐり	1	2	3	4	→	1	2	3	4
イ 保養・休養	1	2	3	4	→	1	2	3	4
ウ 海水浴・マリルジャー	1	2	3	4	→	1	2	3	4
エ ダイビング	1	2	3	4	→	1	2	3	4
オ ゴルフ	1	2	3	4	→	1	2	3	4
カ 釣り	1	2	3	4	→	1	2	3	4
キ スパ・エステ	1	2	3	4	→	1	2	3	4
ク キャンプ	1	2	3	4	→	1	2	3	4
ケ スポーツ大会	1	2	3	4	→	1	2	3	4
コ エコツアー	1	2	3	4	→	1	2	3	4
サ イベント・伝統行事	1	2	3	4	→	1	2	3	4
シ ショッピング	1	2	3	4	→	1	2	3	4
ス 沖縄料理を楽しむ	1	2	3	4	→	1	2	3	4
セ 戦跡地参拝	1	2	3	4	→	1	2	3	4
ソ 新婚旅行	1	2	3	4	→	1	2	3	4
タ ウエディング	1	2	3	4	→	1	2	3	4

問16 今回の沖縄旅行でのLCC利用にあたり、どこから情報を得ましたか
(あてはまるものすべてに○)

1. TV、雑誌、新聞、ラジオなどのメディア
2. 旅行ガイドブック・旅行情報誌
3. インターネットの情報(SNS・ブログ・口コミサイト等を除く)
4. 体験者の評判・口コミ(SNS・ブログ・口コミサイト等を含む)
5. その他()
6. 情報収集していない

問17 今後も、沖縄旅行をする際に、LCCを利用したいと思いますか(1つに○)

1. 今後も常にLCCを利用したい
2. 航空料金が低い繁忙期のみ、幾分安くなるLCCを利用したい
3. LCCの中でも最安料金がある閑散期のみ、LCCを利用したい
4. 航空料金にかかわらず、乗り心地やサービス、安全面などの内容が改善されたらLCCを利用したい
5. 今後はLCCを利用せず、既存の航空会社を利用したい
6. その他()

あなたの普段の旅行スタイルについてお伺いします

問18 あなたは、あなたの普段の旅行スタイルについてどのように考えていますか
(あてはまるものすべてに○)


1. 行ったことがない場所に旅行したい
2. 手軽に行ける場所に旅行したい
3. 気に行ったところには何度も旅行したい
4. 自宅から離れた場所に旅行したい
5. 1回の旅行では1つの地域に絞って旅行したい
6. 都会を旅行したい
7. 1回の旅行で複数の地域を旅行したい
8. 田舎を旅行したい
9. 移動にかかる費用は抑え、その分を目的地で使いたい
10. 旅行にかかる費用はなるべく節約したい
11. 旅行中は費用を気にせず贅沢に楽しみたい
12. ガイドブックや情報誌の情報を参考にしたい
13. 旅行中、費用は計画を立てて使うが、予定外の出費もいとわない
14. インターネットで検索した情報を参考にしたい
15. 移動に時間をかけず、旅行先での滞在時間を長くとりたい
16. 家族・友人・知人の情報を参考にしたい
17. 移動に時間がかかっても、行きたいところに行きたい
18. 現地の人の情報を参考にしたい
19. 国内旅行の際は、できるだけ飛行機を使いたくない
20. 自宅と目的地との移動時間も楽しみたい
21. 事前に情報を収集し、しっかり予定を立てたい
22. 移動手段は、最も便利な方法を選びたい
23. 目的地に到着してから、現地の情報を仕入れて旅行内容を決めたい
24. 旅行の計画や手配になるべく手間をかけたくない
25. 旅行の計画や手配は納得いくまでじっくり考えたい
26. その他()
27. 旅行に対するこだわり・考えは特にない

問19 最近3年以内の旅行で、最も多かった旅行形態は何ですか(1つに○)

1. 観光や食事までついているパッケージ旅行
2. 交通や宿泊のみのパッケージ旅行
3. 交通や宿泊を個人で手配・予約する個人旅行
4. その他()
5. 最近3年以内に旅行をしていない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

2) 基調講演 配布資料



Jetstar★

LCCの現状と新たな旅行需要の開拓

ジェットスター・ジャパン株式会社
常務執行役員
西尾 忠男

本日の流れ

■■ LCCがなんで日本に来たのか？ ■■

背景 その1 「空港インフラの整備」

- ・首都圏空港における航空機の発着回数増

背景 その2 「アジア太平洋地域の航空需要増」

- ・予測では 年平均 5.8%の伸び
- ・オープンスカイ = 規制緩和の流れ

オープンスカイとは？ **Jetstar★**

オープンスカイの推進

◎オープンスカイとは、企業誘致、路線および、便数に係る制限を2国間で相互に撤廃すること。

欧米では・・・1978年の米国の規制緩和から、航空に関する様々な規制が緩和、撤廃され、1990年代以降は、航空自由化が国際分野も順次拡大。1997年にEU域内では資本関係やカボタージュを含めて完全自由化され、2008年には米国・EU間のオープンスカイ協定が締結。世界各地に航空自由化が加速される。

日本におけるオープンスカイ

- ◆成田空港30万回化、羽田の国際化により、首都圏空港を含めたオープンスカイを推進している。具体的には、
 - ①成田空港について二国間輸送を自由化
 - ②首都圏空港以外は、上記以外に遠地点への輸送も自由化
- ◇東南アジア、ASEANの国、米国、韓国、シンガポール、オーストラリア、台湾 合計 2013年1月現在で23ヶ国。日本の国際線の9割をカバー

LCCは過去40年間、継続して進化して来た **Jetstar★**



Source: BHP'S Global Low Cost Carriers - May 2011

世界のLCC(格安航空会社) **国土交通省**

LCC(Low Cost Carrier: 格安航空会社)は、米国市場・欧州市場、さらには東南アジア市場等においても積極的に事業を展開しており、世界の航空輸送市場において、LCCのシェアは全体の2~3割を占めるに至っている。



世界のLCC(格安航空会社)

世界の航空会社ランキング (旅客数、平成22年)

順位	航空会社	旅客数
1	ANA	11,200
2	JAL	10,500
3	ANA	10,000
4	JAL	9,500
5	JAL	9,000
6	JAL	8,500
7	JAL	8,000
8	JAL	7,500
9	JAL	7,000
10	JAL	6,500

LCC各社の概要 **Jetstar★**

項目	peach	AirAsia	Jetstar
資本	100億円 ANA 50% EVA Air 30% Lionel Air 10% ANA 10% ANA 10%	25億ドル [国内出資] 100% ANA 7% エアアジア 93%	16億ドル(今後120億ドルまで増資予定) ANA 50% ANA 10% ANA 10% ANA 10% ANA 10%
拠点空港	関西国際空港 東京羽田(予定)	成田国際空港 中部国際空港(予定)	成田国際空港 関西国際空港(予定)
機材	A320-200	A320-200	A320-200
運航開始	関西⇒神戸線、経路(2012年3月1日) 関西⇒長崎(2012年6月25日) 関西⇒札幌(2012年6月25日) 関西⇒仙台(2012年10月18日)	関西⇒神戸線、経路(2012年6月1日) 関西⇒東京(2012年6月1日) 関西⇒札幌(2012年6月1日) 関西⇒仙台(2012年6月1日)	関西⇒札幌、経路(2012年6月1日) 関西⇒東京、経路(2012年6月1日) 関西⇒仙台、経路(2012年6月1日) 関西⇒札幌、経路(2012年6月1日)
運航経路	関西⇒札幌(2012年6月1日) 関西⇒東京(2012年6月1日) 関西⇒仙台(2012年6月1日) 関西⇒札幌(2012年6月1日)	関西⇒札幌(2012年6月1日) 関西⇒東京(2012年6月1日) 関西⇒仙台(2012年6月1日) 関西⇒札幌(2012年6月1日)	2011年6月1日より羽田発着予定 関西⇒札幌 関西⇒東京 関西⇒仙台
運航機材	A320	A320	A320

世界の航空旅客輸送量予測(2005年~2025年) **国土交通省**

2025年(平成37年)までの世界の航空旅客輸送量において、最も伸びが著しいのはアジア太平洋地域(年平均+5.8%)であり、輸送量も2005年(平成17年)に比べ約3倍に増加し、世界最大の航空市場に成長。



航空輸送量の大幅な増加(国際・国内計)

2005年(平成17年) 世界旅客輸送量 199億人

2025年(平成37年) 世界旅客輸送量 599億人

年間増加率: 年平均 +5.8%

首都圏空港(羽田・成田)の年間発着枠の増加 **国土交通省**

時期	羽田空港 (羽田発着枠)	成田空港	首都圏空港全体
H22.10月まで (羽田LCC発着枠利用)	30.3万回	22万回	52.3万回
現在 (H24.3.25以降)	39万回 (6万回) [発着枠の内訳: 発着: 3万回, 深夜発着: 3万回]	25万回	64万回
H25年夏ダイヤから (H25.3.31以降)	41万回 (6万回) [発着枠の内訳: 発着: 3万回, 深夜発着: 3万回]	27万回	68万回
最終形 (羽田: H25年度末 / 成田: H26年度末)	44.7万回 (9万回) [発着枠の内訳: 発着: 3万回, 深夜発着: 3万回]	30万回	74.7万回

※1: 1万回発着枠以上の航空会社のみ。
※2: 国際線のみの航空会社のみ。
※3: 成田空港の発着枠は、H25年度末まで。
※4: 羽田空港の発着枠は、H26年度末まで。

LCCの普及率は世界水準は3割弱、日本は5%程度 Jetstar

日本国内・国際線運送率共に現在1割以下

9 Jetstar - Privileged and Confidential

ジェットスター・ジャパンについて

ジェットスターグループはアジア太平洋地区をリードするLCCです Jetstar

- 2004年の就航以来、毎年利益を上げています。
- アジア太平洋地区で急成長している航空会社です。
 - 5カ国をベースに運航しています
 - 現在16カ国、約60都市に就航
 - 運航機材数: 91機
 - 週3,000以上を運航

12 Jetstar - Privileged and Confidential

Jetstar Japan Jetstar

Brand, Revenue Generation, Scale

JETSTAR AUSTRALIA, JETSTAR NEW ZEALAND, JETSTAR INTERNATIONAL, JETSTAR ASIA (SINGAPORE), JETSTAR PACIFIC (VIETNAM), JETSTAR JAPAN, JETSTAR HONGKONG

15 Jetstar - Privileged and Confidential

ジェットスターグループについて Jetstar

- 2004年 カンタス航空100%出資のLCCとして設立
- 2004年5月 オーストラリア国内で運航開始
- 2004年12月 ジェットスターアジア、運航開始
- 2006年11月 国際線運航開始
- 2007年3月 関西-ブリスベン-シドニー便 運航開始 (LCCとして日本初就航)
- 2007年9月 関西-ケアンズ便 運航開始
- 2008年12月 成田-ケアンズ、成田-ゴールドコースト便 運航開始
- 2009年6月 ニューージーランド国内線 運航開始
- 2010年7月 関西-台北-シンガポール便 運航開始
- 2012年3月 成田-マニラ-ダーウィン便、関西-マニラ-シンガポール便
- 2012年3月 関西-台北-シンガポール便を週14便に増便
- 2012年7月 ジェットスター・ジャパン 成田をベースに日本国内線就航
成田-札幌、関西、福岡、沖縄便 運航
- 2012年8月 ジェットスター・ジャパン 関西-札幌、福岡便 運航
- 2012年10月 ジェットスター・ジャパン 関西-沖縄便運航
- 2012年11月 関西-シンガポール直行便運航
- 2013年 上期 成田-大分 成田-鹿児島 中部-福岡 中部-札幌 中部-鹿児島

LCCのモデルとは？

ジェットスター・ジャパンLCCビジネスモデルにおける4つのキーワード Jetstar

低コストモデルの実現

- Efficiency 効率性**
 - 高い座席密度
 - 高い稼働率
 - 空港での迅速なターンアラウンド
- Simplicity 簡素化**
 - 単一機材
 - モノクラス
 - ポイントトゥーポイント
 - ノンフリル
- Productivity 生産性**
 - 柔軟な就業規則
 - マルチタスク
 - フラットな組織
 - 最先端技術の活用
- Unbundle パラ売り**
 - 各サービスのバラ売り
 - 低価格な運賃
 - 破格なプロモーション価格
 - 付帯収入への注力

運賃販売での視点

